

緊急要望

岩国市議会御中

貴議会の日々、議会活動などへのご尽力に対して敬意を表します。

私たちは岩国市のおかれている現状について、一自治体のことではないと憂慮し緊急に要望をするものです。

米軍再編を巡る国と岩国市の問題については2006年3月の住民投票、その後合併を受けた4月の市長選で住民の意思が示されました。しかし国の米軍再編にかかる特別措置法により岩国市では市庁舎建設費補助金カットがされるなどについて報道がされました。私たちも関心をもって推移を見守ってきたところです。

しかし、この10月末に開催された岩国市議会臨時議会では庁舎建設費補助金カットの代替案とし合併特例債を利用した補正予算が提出されましたが否決され、また再議になじまないとの総務省の見解が示されたことにより岩国市が窮地に陥っているとの情報を得ています。そして再度臨時議会を開催し、合併特例債利用の金額を減額しての再度の補正予算案が審議されると聞いております。

市民の意思は住民投票そして市長選により「これ以上の基地負担はノー」であると明確に示されています。また市長は「市民の安全、安心を守る」立場から様々な提案をされていると聞いています。

これまでは国防として基地との共存をかけた、今回の米兵によるレイプ事件など沖縄と同じような事件がありながらも、声高に基地返還を求めてなかった岩国市民に対して、国はこれ幸いと基地の増強を押し付けようとしています。

アメとムチで国の言いなりになるよう仕向けるこの手法は民主主義、そして地方自治の根幹を揺るがせる重大な問題であり、岩国市だけの問題ではありません。

私たち関西を中心に活動する市民派議員は岩国市議会の動向に市民自治の立場から危機感を持って見守ってきました。しかし、再度の補正予算の議案に対して、市民の意思を尊重しそれを実践する議会であるために、貴議会の賢明な判断を求めて下記の件を要望致します。

記

一、庁舎建設に係る補正予算をすみやかに可決されること。

以上

2007年11月15日

第65回近畿市民派議員交流・学習会 参加者

岩国市議
会緊急要
望賛同者
名